

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:8月6日(月)

会場:布野生涯学習センター

参加者数:46人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>三次市出身の子どもが、現時点で何%三次市へ帰ってきているのか。数字の目安がないと、現在の取り組みの効果が分からないし、目標を立てることもできない。 子育て日本一のために、医療、福祉、教育、国際交流など広く取り組みをされているが、子どもは都市部で就職している。地方は人材を育成するための場所になっている。三次で育った子が、どれぐらいこの地に帰って来てがんばっているのか。</p>	<p>・平成27年10月～平成28年9月の1年間で、94人が三次市にUターンしている。平成28年10月～平成29年9月では、110人がUターンしている。</p>	
<p>今は人口の指針となる数値が三次市にはない中で、取り組みが進められていると思う。総合的に施策を進めていくことの必要性は分かるが、どの位置まで来ているのかが数値がないと分からないと思う。人口の目標をきちんと設定してさまざまな施策を展開していくべきである。</p>	<p>・平成26年3月に策定した第2次三次市総合計画では、人口の目標数値は設定しておらず、人口減少のスピードを緩和・抑制し、人口減少に適応しながら、市民がいかにしあわせを実感しながら住み続けられるかを目標としている。現在第2次三次市総合計画の見直しを進めている。アンケートでは市民のしあわせ度は改善しており、不満度は下がっている。今取り組んでいる方向性は間違っていないと思っている。</p> <p>・何とかして1年を通じて三次市全体の人口が社会増になることをめざしている。</p>	
<p>三次市民ホールきりりは、建設当時は市議会でも現在の場所に建設していいのかどうか議論がされ、冠水する場所ではないとして大丈夫となったのだと思う。今回は想定外の雨量があり冠水した。避難所になっているのに情けない。</p>	<p>三次市民ホールきりりは、場所としては建設当時多くの方の合意を得ながら決定し、さらに5m程度建物を上げている。これは建物が水に浸からないためにしている。浸からない場所に三次市民ホールきりりを作ったつもりはない。 今第一に考えないといけないのは、堤防を越水して浸水する河川大規模氾濫時に、どう命を守るかである。今三次の市街地では、協定を結んで数カ所で3階以上の建物に逃げてもらえる仕組みも作っている。市有施設はもちろん、県の施設も今後協力してもらって、展開を進めたい。</p>	
<p>7月6日に近隣住民の方から「三次市民ホールきりりに避難したい」という声が挙がったが、市の指定避難所は三次小学校だと言って対応していた。しかし県道知三線が冠水してきて、三次小学校に避難できなくなったため、それを市に伝え、きりりを避難所とすることになった。最高200人を超える人が避難することとなったが、停電もせずに、空調が使えてトイレも使えた。設備は地下にあったものの、気密性が良いなどの条件もあり、1.7m浸水しても大丈夫だった。きりりはきちんとした建物だと立証されたと思う。動力は壊れなかった。そのため復旧も早くできた。</p>		
<p>このあたりは避難所が布野生涯学習センターになっているが、ここでは川が氾濫して浸かったり、土砂が流れてきたりすると思う。布野小学校も避難所として開設してもらいたい。</p>	<p>三次市は他の自治体と比べても、自主防災組織の組織率が高い。その自主防災組織と防災士と行政が一緒になってどのように避難するか考えないと、命は守れなくなっている。 布野小学校を含め、どこに避難するべきか、支所の職員も一緒に、地域で話をしてもらいたい。</p>	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:8月6日(月)

会場:布野生涯学習センター

参加者数:46人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>住んでいる地域は、旧横谷小学校が避難場所になっているが、このたびは市道石貝線が雨で4箇所崩れて、避難場所までの道が通れなくなった。雨が降るたびにこのようになる。今までの市の対応は土砂を取るという小手先だけ。崩れる度に除去するのではなく、根本的な対策をしてもらいたい。</p>	<p>災害復旧は原状回復が原則なので限界がある。現地を確認させてもらいたい。時間をかけて考えて付加価値をつけることで、思っておられるような根本的な対応ができるかもしれない。</p>	
<p>支所の職員が少なくなっている。本庁は支所をバックアップしてもらいたい。2カ月前にお願いした30万円位の草刈り作業が何故できないのか。もともと市で草刈りをしていた路線で、地域で受けて草刈りをしていて、できなくなったため市に返したものである。予算にあがっていないのではないか。</p>	<p>支所の設計状況を確認しながら話し合っって対応していきたい。</p>	<p>【回答】 ご指摘のあった市道2路線(戸河内二井殿線, 戸河内57線)については、草刈りを完了した。今後、業者委託路線で実施を検討していく。(布野支所・土木課)</p>
<p>神野瀬川の支流の布野川の支流の戸河内川は以前整備してもらったが、今は堆積物もたまって、木もたくさん生えている。市に写真付きで要望書を出したので、何とか減災という意味で、県にお願いしてほしい。</p>	<p>対応できる場所は、対応していきたい。</p>	<p>【回答】 市が管理している戸河内川の浚渫については、延長が長いので一度に撤去はできないが、今年度から計画的に対応していく。(土木課)</p>
<p>毎年地域づくり懇談会に来ていた同級生が今日は来ていない。「8月6日は広島市内に出ている」とのこと。今こうしている間に、広島では慰霊のとうろう流しが行われている。</p>	<p>今のご意見を伺い、今後は8月6日を地域づくり懇談会の開催日とすることは避けるよう調整したい。</p>	
<p>分収造林について。勝手に山の木を切って、道を作ってもいいのか。その山は県と父が契約した砂防堰堤とかを作る代わりに官用保安保水林にするためのもの。切ったり山を削ったりするには、県の許可が必要であるはず。3年以上前に私が知らない間にされていた。去年の地域づくり懇談会でも言った。</p>	<p>分収造林は、50年の地上権を設定し、造林に係る収益を市と所有者が6対4の割合で分収するもの。50年経った時点で伐採または契約更新することになっている。通常の管理は森林組合に委託している。保安林についても県と協議しながら進めていきたい。</p>	
<p>避難準備や避難勧告は、お年寄りに意味がよく分からない。注意書きを添えて通知をしてはどうか。音声告知放送をつけていないため、災害・避難に関する指示を私は受けていない。昔布野町にはオフークの屋外スピーカー設備があったが、活用すべきではないか。三次市内ではピオネットの音声告知放送を設置していないところが多いのではないか。</p>	<p>避難準備や避難勧告は、何をしたらいいのかわかりづらいため、より良い伝達方法と表現方法を今後も考えていきたい。 避難所については、メールや音声告知放送で知らせているが、どうしたら伝わるのか、どう伝えていたらいいのかわかりたい。布野町では、音声告知放送の加入率は約87%である。100%の加入を引き続きめざしている。災害情報を得るために、是非加入してもらいたい。オフークは設備の老朽化に加えて、NTTが事業から撤退したことで継続できなくなった。防災行政無線についても、設備の老朽化と法改正で周波数が1つしか持てなくなり、地域別の情報が放送できなくなったため、廃止した。今は市内は音声告知放送に統一しており、既存の屋外スピーカーは活用できない。</p>	
<p>支所の職員の2割は、支所管内出身の職員を配置すべきである。</p>	<p>7支所を含め市全体の中で、人事配置は今後も考えていきたい。</p>	